

2014年7月31日

ヤマハ株式会社

**2015年3月期第1四半期連結業績の概要と
通期連結業績予想について**

□ **第1四半期業績の概要** — 対前年同期増収、営業増益 —

2015年3月期第1四半期の売上高は、対前年同期で、為替による21億円の増収影響もあり、26億円(2.7%)増加の996億円となりました。セグメント別には、楽器事業および音響機器事業が増収、電子部品事業およびその他の事業は減収でした。

営業利益については、対前年同期で1億円(1.1%)増加の62億円、経常利益は4億円(6.9%)減少の59億円、四半期純利益は、前年に投資有価証券売却益の計上があったことなどから、17億円(29.9%)減少の41億円でした。

<事業セグメント別の売上高・営業損益の状況> ()内は原則として前年同期比増減率

・ **楽器事業 売上高 657億円(前年同期比 5.0%増) 営業利益 58億円(前年同期比 30.8%増)**

ピアノは、国内および欧州での販売が低調でしたが、北米および中国で売上げを伸ばし、全体で増収となりました。電子楽器は、デジタルピアノが好調に推移したほか、10年ぶりに新製品を発売したエレクトーンが売上げを伸ばしました。管楽器は、北米での販売が好調でした。音楽教室は、生徒募集での苦戦が継続しました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、31億円(5.0%)増加の657億円となりました。

営業利益は、14億円(30.8%)増加の58億円でした。

・ **音響機器事業 売上高 243億円(前年同期比 3.5%増) 営業利益 6億円(前年同期比 28.7%減)**

オーディオ機器は、全地域で販売が低迷し、減収となりました。PA機器は、欧州で売上げを伸ばしましたが、国内および新興国での販売が低調でした。ICT(Information and Communication Technology)機器は、ルーターおよび音声コミュニケーション機器が売上げを伸ばしました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、為替影響を含め8億円(3.5%)増加の243億円となりました。

営業利益は、2億円(28.7%)減少の6億円でした。

・ **電子部品事業 売上高 38億円(前年同期比 17.8%減) 営業損失 2億円(前年同期 4億円の営業利益)**

半導体は、主にスマートフォン向けの地磁気センサー(電子コンパス)および音声処理用コーデックの売上げが振るわず、減収となりました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、8億円(17.8%)減少の38億円となりました。

営業損失は、2億円(前年同期は4億円の営業利益)でした。

・ **その他の事業 売上高 58 億円（前年同期比 8.5%減） 営業利益 0.4 億円（前年同期比 91.2%減）**

自動車用内装部品は、前年同期並みの売上げにとどまりました。FA 機器は、受注が回復傾向にあるものの当四半期では、中国をはじめとする新興国で売上げを落としました。ゴルフ用品は、新製品の販売が好調に推移し、増収となりました。リゾート事業は、減収でした。

セグメント全体の売上高は、前年同期に比べ、5 億円（8.5%）減少の 58 億円となりました。

営業利益は、4 億円（91.2%）減少の 0.4 億円でした。

□ **2015 年 3 月期通期連結業績予想について** — 前回予想を据え置き —

2015 年 3 月期通期連結業績予想は、4 月 30 日公表時には、売上高 4,300 億円（前期比 4.8%増）、営業利益 290 億円（前期比 11.6%増）、経常利益 280 億円（前期比 7.1%増）、当期純利益 210 億円（前期比 8.3%減）としておりました。

今回の業績予想では、いずれも据え置きといたします。

尚、想定為替レートは、対 US ドル 100 円、対ユーロ 135 円です。

注) 文章中の売上高、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

2015年3月期第1四半期業績資料

ヤマハ株式会社
2014年7月31日

	第1四半期予想 (14/4/30発表) 15年3月期	第1四半期実績 15年3月期	前期第1四半期実績 14年3月期	前回当期予想 (14/4/30発表) 15年3月期	当期予想 15年3月期	前期実績 14年3月期
売上高	1,005億円	996億円	970億円	4,300億円	4,300億円	4,103億円
国内売上高	419億円 (41.7%)	411億円 (41.3%)	427億円 (44.0%)	1,673億円 (38.9%)	1,672億円 (38.9%)	1,679億円 (40.9%)
海外売上高	586億円 (58.3%)	585億円 (58.7%)	543億円 (56.0%)	2,627億円 (61.1%)	2,628億円 (61.1%)	2,424億円 (59.1%)
営業利益	60億円 (6.0%)	62億円 (6.3%)	62億円 (6.4%)	290億円 (6.7%)	290億円 (6.7%)	260億円 (6.3%)
経常利益	55億円 (5.5%)	59億円 (5.9%)	63億円 (6.5%)	280億円 (6.5%)	280億円 (6.5%)	261億円 (6.4%)
当期利益	40億円 (4.0%)	41億円 (4.1%)	58億円 (6.0%)	210億円 (4.9%)	210億円 (4.9%)	229億円 (5.6%)
為替レート(決済レート)	100円/US\$ 135円/EUR	102円/US\$ 140円/EUR	98円/US\$ 121円/EUR	100円/US\$ 135円/EUR	101円/US\$ ^(**) 136円/EUR	100円/US\$ 129円/EUR
ROE ^(*)	5.9%	6.0%	10.1%	7.5%	7.5%	9.2%
ROA ^(**)	3.6%	3.7%	5.9%	4.7%	4.7%	5.5%
1株当たり利益	20.7円	21.1円	30.1円	108.5円	108.5円	118.3円
設備投資額 (減価償却費)	37億円 (29億円)	32億円 (29億円)	21億円 (29億円)	138億円 (128億円)	136億円 (131億円)	108億円 (128億円)
研究開発費	67億円	59億円	57億円	256億円	253億円	226億円
(キャッシュフロー)						
営業活動	▲11億円	37億円	▲18億円	335億円	335億円	332億円
投資活動	▲32億円	▲32億円	▲7億円	▲128億円	▲126億円	▲230億円
フリーキャッシュフロー	▲43億円	5億円	▲25億円	207億円	209億円	103億円
期末在庫高	922億円	891億円	899億円	844億円	825億円	827億円
(要員数)						
国内	7,000人	6,821人	7,108人	6,700人	6,700人	6,830人
海外	13,600人	13,223人	12,759人	13,600人	13,600人	13,021人
正社員計 ^(***) (連結範囲変動による増減)	20,600人 (295人)	20,044人 (278人)	19,867人 (43人)	20,300人 (300人)	20,300人 (290人)	19,851人 (46人)
正社員外要員(期中平均)	7,400人	7,804人	8,329人	7,500人	7,200人	7,863人
(事業別売上高)						
楽器	650億円 (64.7%)	657億円 (66.0%)	626億円 (64.5%)	2,730億円 (63.5%)	2,745億円 (63.8%)	2,623億円 (63.9%)
音響機器	245億円 (24.4%)	243億円 (24.4%)	235億円 (24.2%)	1,120億円 (26.1%)	1,120億円 (26.1%)	1,055億円 (25.7%)
電子部品	45億円 (4.5%)	38億円 (3.8%)	46億円 (4.8%)	190億円 (4.4%)	175億円 (4.1%)	188億円 (4.6%)
その他	65億円 (6.4%)	58億円 (5.8%)	63億円 (6.5%)	260億円 (6.0%)	260億円 (6.0%)	237億円 (5.8%)
(事業別営業利益)						
楽器	55億円	58億円	44億円	220億円	225億円	197億円
音響機器	5億円	6億円	9億円	60億円	60億円	59億円
電子部品	0億円	▲2億円	4億円	5億円	0億円	8億円
その他	0億円	0億円	4億円	5億円	5億円	▲4億円

(単独の状況)

売上高	646億円	587億円	2,237億円
営業利益	39億円 (6.0%)	28億円 (4.8%)	81億円 (3.6%)
経常利益	99億円 (15.3%)	82億円 (14.0%)	155億円 (6.9%)
当期利益	100億円 (15.5%)	89億円 (15.2%)	177億円 (7.9%)

* 1, 2 ROE・ROAIは年換算値
* 3 要員数=期末社員在籍数
* 4 2Q-4Q為替レート US\$=100円、EUR=135円

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。